

平成27年度 国立大学法人九州大学入札監視委員会定例会議 議事概要

開催日及び場所	平成27年12月1日(火) 九州大学パブリック2号館1階 会議室	
委員	委員長 新関 輝夫(藤井・梅田法律事務所) 委員 日下 健太(日下健太公認会計士税理士事務所) 委員 永友 清司(九州電力株式会社)	
審議対象期間	九州大学、福岡教育大学、九州工業大学:平成26年7月～平成27年6月	
抽出案件(合計)	9件	(備考)
工事(小計)	7件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。 9月7日の入札監視委員会(予備会議)にて委員より抽出された案件について個別審議を行った。 その際、説明資料に基づき各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。
一般競争 (政府調達協定対象工事)	1件	
一般競争 (政府調達協定対象工事を除く)	5件	
公募型指名及び 工事希望型競争	0件	
通常指名競争	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務	2件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

平成27年度 国立大学法人九州大学入札監視委員会定例会議 議事概要

質 問	回 答
<p>九州大学 (1)建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について</p> <p>資料1：総括表(建設工事) (平成26年7月～平成27年6月契約分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と比較して審議対象数はどうであるか。 <p>資料2：総括表(設計・コンサルティング業務) (平成26年7月～平成27年6月契約分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札(設計)の平均落札率(58.5%)だけ低いのは何故か。 <p>資料3：指名停止一覧表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約辞退の申入れがあった場合は、辞退理由の調査等を行うか。 <p>(2)予備会議において抽出された建設工事及び設計・コンサルティング業務の審議について</p> <p>資料4：(伊都)超高圧電子顕微鏡棟増築工事【最低価格落札方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加業者は別工事を契約したため辞退したとのことだが、別工事は九州大学の別工事であるか ・辞退を何回かしたらペナルティはあるのか。 ・九州大学以外の工事を把握することは行っているか。 ・東京オリンピック関係工事などにより今後配置予技術者の確保が難しくなると考えられるが、何か対策を取っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事については今回61件中18件、前回90件中23件、設計業務については今回13件中1件、前回14件中3件となり、前回と同等または少し割合が減っている。 ・とりこわし設計は予定価格積算根拠がなく、設計業者は非常に安価な金額で応札を行うことが多い。それが平均落札率に影響している。 ・辞退理由の確認は行っている。 ・九州大学以外の工事である。 ・特にない。 ・多くの自治体等があるため、把握はしていない。競争参加資格申請時に配置予定技術者が他の工事を行っているか等の確認は行っている。今回については確認を行った上で業者が辞退を行った。 ・資格等級を拡大したり、過去の実績期間を長くするなど、出来るだけ枠を広げようとしている。

資料5 : (伊都)超高压電子顕微鏡棟増築その他機械設備工事【随意契約】

- ・1回目と再公告では予定価格が異なるが、なぜか
- ・見積合わせで参加を依頼したのは1者のみか。

資料6 : (伊都)基幹・環境整備(敷地造成IV工区Ⅱ)工事【総合評価落札方式(標準型)】

- ・土木工事は落札率が低い、予定価格の積算は土木工事の特殊性があるか。
- ・落札率が低くなると推測される案件について、予定価格を下げることはできないか。

資料7 : (医病)基幹整備(排水処理設備改修)工事【総合評価落札方式(実績評価型)】

- ・積算が間に合わないため辞退した業者があったそうだが、特殊な工事なのか。
- ・特殊な工事のため、入札までの期間を長くすることは可能であるか。
- ・メーカーを指定しているか。

資料8 : (伊都)総合研究棟(文系)新営実施設計業務【簡易公募型プロポーザル方式(環境配慮型)】

- ・見積合わせの1回目で予定価格と2千万円の開きがあるが、相手方とどのように交渉を行うのか。
- ・見積合わせをする回数に上限はあるか。
- ・業者が一度持ち帰って検討することを認めているか。

- ・設計仕様等を見直したため変更になった。
- ・工種が同じであり、当時九大で別の工事を行っている業者であれば複数でも参加を依頼している。当該工事に応じたのは1者であった。

・土木工事の積算根拠は国土交通省と同様のものを使用しており他省庁との差が出来にくい工事である。それが特徴とも言えるが、今回の低入札については企業努力によるところが大きい。

・現在は国交省通知の基準により積算しており、多少割高な予定価格となっている。最近国交省においても、材料等の地域調査による単価をベースにするなど、以前の単なる歩掛かりの積み上げによる積算体制ではなくなってきた。本学においても、国交省や文科省の積算体系から外れることは難しいが、可能な範囲で積算体制を見直していきたい。

・病院の排水処理関連の機器を含む改修であり、どちらかと言うと特殊性のある工事である。

・公告から入札書提出までの期間を長くすることは可能である。今回は通常期間の日程で行ったが、今後内容によっては日程期間を長くするなどの検討を行いたい。

・メーカーは指定していない。

・相手業者には予定価格と開きがあるため再度金額を見直して欲しい旨だけを伝えている。

・相手業者が応じる意思があれば、何度でも対応している。

・認めている。

資料9：(箱崎)工学系実験施設等とりこわし設計業務【一般競争入札(最低価格落札方式)】

・設計業務において設備毎の産業廃棄物の処理方法について仕様等に記載はあるか。

・とりこわし工事業者が設計通りに行っているかの確認はどのようにしているのか。

・今回の落札業者は、他の案件においても安価で落札した実績はあるか。

・今後、予定価格を作成するときに実績を考慮するか。

・PCBやアスベストが含まれる場合はとりこわし工事がより高額となるが、設計業務の場合には金額に影響はあるか。

・設計業者の積算範囲の間違いなどはないか。

・設計図書（特記仕様書）に記載している。

・とりこわし業者に施工計画を提出させて、設計と合っているか確認している。

・実績はない。但し、今年度においても低入札調査後、落札した実績はある。

・実績は考慮しない。

・PCBやアスベスト調査を請負内容に含めた場合は高額となるが、本案件は、大学より情報提供を行う形での設計業務であり、金額への影響はない。

・業者から提出された内訳書において積算内容の確認を行っており、問題はない。

福岡教育大学

(1)建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について

資料10：総括表(建設工事)
(平成26年7月～平成27年6月契約分)

・入札件数は昨年と比較してどうか。

・今年度は増えている。昨年度は施設整備費は部分的な耐震補強であったので少額であったが、今年度は附属の小中学校の工事費の予算を頂いているので昨年度に比べると多くなっている。

資料11：総括表(設計・コンサルティング業務)
(平成26年7月～平成27年6月契約分)

- ・特になし

資料12：指名停止一覧表について

- ・特になし

(2) 予備会議において抽出された建設工事及び設計・コンサルティング業務の審議について

資料13：福岡教育大学(小倉他)基幹・環境整備(空調電気設備)工事【一般競争入札(最低価格落札方

- ・各地区それぞれに案件を分けることを行わなかったのは何故か。

- ・各地区に案件を分けた場合、一括で発注するメリット（数が多くなれば機器が安価で購入可能）、並びに、維持管理の容易さ（施工業者が複数であると維持管理の調整が難しい）などの対応が見込めないため、各地区を包括した形で発注を行った。

- ・各地区の近場の業者と契約した方が安価な金額になるのではないか。

- ・維持管理において、機器の不具合が発生した場合、複数業者と調整するよりも単一業者と調整した方が効率的であるため。

- ・参加業者の所在地が広範囲になっているが、参加業者へ声掛けなどを行ったか。また、声掛けした業者の基準は何か。

- ・過去に応札したり、契約実績のある業者などに声掛けを行った。

- ・入札が4回目まで行っているが。

- ・入札は通常2回程度であるが、2回目終了時点で予定価格との差が小さかったため、4回目まで行った。

- ・機器の能力の提示については、大学から行うのか。

- ・機器の能力については、設計図書（仕様書等）に記載している。

資料14：福岡教育大学(小倉他)基幹・環境整備(空調機械設備)工事【一般競争入札(総合評価落札方

- ・低入札調査内容では協力会社からの協力が得られたとの記入があるが、ダンピング等の問題はないか。

- ・本工事費は機器の金額が多く占めており、人件費の影響は少ない。低入札の主な理由は機器の一括購入によるものであり、ダンピング等の問題はない。

- ・予定価格積算において一括で多く購入すれば安くなることは考慮できないか。

- ・空調機器の歩掛りがあるため現状は難しい。しかし、今回のように単体で空調機器を取り付ける工事については、今後検討していきたい。

九州工業大学

(1)建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について

資料15：総括表(建設工事)
(平成26年7月～平成27年6月契約分)

- ・特になし

資料16：総括表(設計・コンサルティング業務)
(平成26年7月～平成27年6月契約分)

- ・特になし

資料17: 指名停止一覧表について

- ・特になし

(2)予備会議において抽出された建設工事及び設計・コンサルティング業務の審議について

資料18:(戸畑)附属図書館屋上防水改修その他工事【総合評価落札方式(実績評価型)】

・下請け業者へ負担が掛かっているかどうかの確認はどのように行っているか。

・落札率が51%であるが、予定価格の積算について今後の反省材料はあるか。

・施工体制台帳で下請け業者に丸投げしていないかなどを確認している。また、見積書を提出してもらい内容を確認している。本案件においては、一般管理費の価格を下げている、下請け業者に影響が出る内容ではなかった。

・刊行物等で採用できる単価があれば採用している。また、5者程度の専門業者から見積書を徴収し、査定率も前年度の調査による数値を使用している。今年度においても査定率について調査する予定である。